

## 2020年度 年末手当回答＋追加支給要求シリーズ④

東日本ユニオン 中央本部

# これが現場社員の声だ！

- 年末手当が2.2ヶ月では、今までと同じ気持ちで仕事に向き合えません。支払い能力がある中で、社員に還元しないのであれば社員として「それなりの仕事をする」という意識に変わります。「会社のためにキツイし、ツライけど頑張る！」とは間違ってもなりません。今後はダブルワークの許可などが制度として設定されるのでしょうか？そうならば安全神話は本当の「神話」となり、事故が頻発する会社、嘘やごまかしが跋扈する会社になります。真面目にやる社員がバカを見ます。誰もこんな会社に目も向けなくなるでしょう！
- 会社経営陣の現場との意識の乖離は、うんざりするほどです。職場で社長と話をする機会がありましたが、意識の差に呆然としました。今まで業績が良かったときは「行き先が不透明だから」「安定的に支給する」という理由で、ボーナスが低く抑えられてきました。JR東日本の社員は不幸です。元凶は会社幹部の現場への無関心・無知です。本部には上乘せの交渉をお願いしたいと思っています！
- 交渉お疲れさまでした！回答は2.2ヶ月。「もう少しは」と期待していました。コロナウイルスの感染者がまた増えてきています。正しく恐がり、前進しましょう！
- 経営側より、年末手当が「基準内賃金の2.2ヶ月分」と回答を受けました。昨年度までの業績好調では出し渋り、コロナの影響を理由の1つとして、この最低な回答。経営側に言いたい。ふざけるな！社員も生活があるんだ！ボーナスも生活給として生計を立てている！コロナ禍の中、日々頑張っているすべての社員に対して、経営側はもっと還元するべきだ！
- 期末手当の予算800億。我々の満額要求566億。会社は支払う体力があると言いながら、2.2ヶ月の回答。平均給与から計算すると今回使用した経費は397億。予算の半分も使っていない。計上した予算から考えると人件費の削減としか考えられない。社員としては納得がいかない。検討した結果、赤字だからこの数字と今いうのであれば、黒字化したときはしっかりと出してもらわないと納得がいかない。人件費の削減・抑制としか考えられない。当然、赤字の責任を取って役員報酬も大幅に下げるべき。回答の2.2ヶ月は低すぎる。「業績連動ではない」と言っていたのだから、安定的・平均的に出すべきだ！